

20m02H発表記録

# 準備

"General" で会議中

42:32

退出

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議で (10 人)

開	上	坂
田	庄	箸
酒	塚	多

北 開

開 開

坂 坂

酒 酒

庄 庄

上 上

多 多

塚 塚

田 田

箸 箸



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

- 1) (班内) まとめ  
 班のテーマ (近代学校制度)
- テキスト (新しい時代の教育方法)  
 まとめ (学制により近代学校制度) となった。
  - ・学校の種類を大学、中学、小学の3段階に区別し学区制を採用。
  - ・西洋の教育方法から取り入れられたことが多い。
  - ・日本は単線型学校体系を構想した。

- 近代日本の学校制度における  
 ■肯定的 web (教育の危機に対する問題点)  
 まとめ (近代学校制度は政府主導の意) 識が強い。
- ・「国が中心となった」教育としてまとめられることが多い。
  - ・ヨーロッパを中心におこなった公教育の原理などから普及した。
  - ・国民皆学を目指す。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- いろいろな考え方が書かれてある資料を比較してまとめることができていてよかったと感じた。

■ 5段階班の自己評価 ( 4 )

- 近世・近代移行期における国民  
 ■否定的 web (教育の確立と教育観の変化)  
 まとめ (一斉教授法は生徒の身体( ) 制御と統制を必然とする)
- ・一斉教授は教員の指示に対する生徒の
  - ・一斉の行為を必要。
  - ・教師は生徒の行為を制御し、統制することによりはじめて一斉教授が可能。

- 班としての要約  
 まとめ (たぐさんの議論により近代) 学校制度が確立されている。
- ・幅広い選択肢をもつことが必要であり、今日まで議論がなされている。
  - ・学制により近代学校制度が成り立った。
  - ・西洋の教育方法の影響が大きい。

キーワード 10~20 語	明日中に	概念系統図
近代学校制度・学制	・学区制	・一斉教授
・西洋の学問・小学校	・教具	・個別教授
・前近代の教育 寺子屋	・単線型学校体系	
・学校制度		

2\*\*) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- 同じ資料において、どこに話の焦点をおくかによって考え方やまとめ方などに差が出るということが気づいた。



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業の定式化)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (

- ・「教育ニ関スル東カ語」の配布により国民の精神と道徳の統一
- ・「固定教科書制度」により学校は国民共通の文化と道徳を継承するための装置

・「学年制」から「学級制」、そして「学年制」へ

「教育ニ関スル東カ語」により国民の精神と道徳の統一といふ教育の基本理念と実質的的が示されて、「学年制」から「学級制」、そして「学年制」となった。

■肯定的web (中学校におけるアクティブラーニング)

まとめ (生徒が自主的に学び学習)

- ・「ア-クティブラーニング」の導入
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現化
- ・生き生きとした学び

■否定的web (アクティブラーニングとは何か)

まとめ (

- ・「トーク&トーク型の授業」
- ・「問題解決学習」と「系統学習」
- ・教員の多忙化

→ 近年の問題解決学習は大事だが、教員の多忙化の問題がある。

■班としての要約

まとめ (

- ・学習環境の変化
- ・新しいものの取り入れ
- ・教員の負担

→ 近年の学習環境の変化についていくため、教員の負担を考えた新しいものの取り入れていくべきだと考える。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・「教育ニ関スル東カ語」
- ・「ア-クティブラーニング」
- ・「固定教科書制度」
- ・「トーク&トーク型」
- ・「学年制」
- ・「系統学習」
- ・「学級制」
- ・「問題解決学習」
- ・「学年制」
- ・教員の多忙化

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。



2\*\*) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 今までのものを系統化だけでなく、現代に合わせて変えることも大切だと考えた。



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (たのしい授業論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ

- ・たのしい授業が主張するたのしきの根拠は、二つあり、一つは研究活動自体がたのしいこと、もう一つは子どもたちを学習の主体として立ち上がらせようということである。
- ・たのしきとは子どもたちが授業の中で主体的に活動して、その活動を通して何かをつかむことである。

■肯定的 web ([www.koshigaya.bunkyo.ac.jp](http://www.koshigaya.bunkyo.ac.jp))

まとめ

- ・仮説と検証の探求的態度や情報を組織化する知的能力を育成することができる。
- ・発見の喜びや解決の自信を生徒にもたらし。
- ・内発的動機付けを高める。
- ・学習活動が活発になる。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■自分の班のテーマは次回の範囲だったため。テキストが存在せず、ネットから調べたものだけで構成されていたが、内容自体はたのしい授業について掘り下げていることができていたと考えました。

■否定的 web

([www.koshigaya.bunkyo.ac.jp](http://www.koshigaya.bunkyo.ac.jp))

まとめ

- ・時間や労力がかかってしまい、耐性の低い生徒や低学年の子供には向かない。
- ・暗記物には適さない学習である。

■班としての要約

まとめ

- ・たのしい授業は生徒を主体として学習させ、興味を持たせようとするもの
- ・仮説実験授業はたのしい授業を体現させようとしたものである。

キーワード 10~20 語 明日中に

- ・たのしい授業・現代化・知的関心
- ・仮説実験授業・能動的・受動的
- ・ゆとり教育・子供主体・教師主体
- ・オンライン授業

概念系統図

2\*\*) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■  
授業は楽しいものである、苦しいものであるという論争が行われているとおっしゃっていましたが結局のところ、学力を向上させるには、生徒が主体の授業を展開すべきだと考えました。

# ICT活用例

01:51:59 "General" で会議中

自動保存 (オン) ICT活用例 Word 検索

ファイル ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ テーブル デザイン レイアウト 共有 コメント

MS 明朝 (本文) 10.5 A Aa Aa Aa 検索 変換 デリテーション 秘密度 エディター

標準 行間詰め 見出し 1

フォント 段落 スタイル 編集 音声 秘密度 エディター

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151

2. テーマ  
ICTを用いた協働学習

3. ICT活用のねらい

- ・情報を主体的に収集・判断力を身に付ける
- ・表現力、思考力の育成

4. ICT活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT活用の場面 (協働制作)	ICT活用の手順 ○タブレットPC等を用いて、作品制作の分担を決める ○個人やグループ内で作品の材料や情報を探す ・タブレットPC等で情報の共有 ○集めた情報等を整理、発表の準備 ・意見や議論を通して資料の整理 ○発表 ・スライドを黒板に映し発表	○機器のトラブルがあった時、授業が中断してしまう

11 ページ 354 文字 日本語

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議で (10 人) 全員をミュート

北 北開  
開 開  
坂 坂  
酒 酒  
庄 庄  
上 上  
多 多  
塚 塚  
田 田  
箸 箸

+4 坂 庄 田 上 塚



各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ  
班のテーマ (ICT活用例)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

ICTを用いた+協働制作

■目標、内容・指導の概略等

- ① タブレットPC等を用いて、作品制作の分担を決める
- ② 個人やグループ内で作品の材料や情報を探す
- ③ 集めた情報等を整理、発表の準備
- ④ 黒板やホワイトボード等にスライドを映し、発表

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

もう少し、何についての協働学習なのかを調べ、明確にすべきであった。

2\*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ 学校がどのようにICT機器を準備するかが問題である。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

■工夫した点、出典等

■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

2\*\*) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■

発表するときにとっても緊張した。

# 確認問題01

"General" で会議中

02:06:45

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議で (10 人) 全員をミュート

北 北開

開 開

坂 坂

酒 酒

庄 庄

上 上

多 多

塚 塚

田 田

菅 菅

img004.pdf - Adobe Acrobat Reader DC

img004.pdf

## 教育方法論 m

第 1 回

確認問題 01

(1) 現実の学校は何によって設立されたか。

近代国家 (18世紀後半~19世紀前半)

(2) 次の空欄を埋めよ。

学力と集団と発達の保障とは、  
学力の「      」や「      」に

(4) 教育方法の学に流れるエスプリを構成する3つの要素をあげ、そのうち1つについて簡潔に説明せよ。

- ・リアリズム
- ・ヒューマニズム
- ・ロマンチズム

リアリズム

教育実践の現場で

+4 酒 庄 多 塚 上

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ  
各問のポイント

■問1 p19.

近代国家  
(18世紀後半~19世紀前半)

■問2 p5 (5行目~11行目)

学力と集団と差違の保障  
・学力の格差

キーワード: いじめ, 心と生活  
自己肯定感

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと  
思ったことをのべよ。

■ 2 教育方法の学が解決明かす課題 (p4~)  
をどうやってイスプリで対応していくかを  
考えた知識も行くことがポイントだと思った。

2\*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ  
よ。

■ 問題が解決できた理想の教育  
と現実の教育の溝があまりにも深すぎる

■問3 p6

授業研究の展開

↳ 課題

(学力と集団(自治)と差違の保障  
教育と生活の結合  
教育と科学の結合)

■問4 p2~3

リアリズム 教育実践の現場で子供、教師、  
保護者、地域の人々と交ちて考える

ヒューマンイズム 常に弱者の視線が考える

ロマンチズム 苦難のなかで醍醐味と  
魅力を見出す考え

2\*\*) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り  
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ  
いて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 取り組む時間  
・教科書に書いてあることを採ること問  
題が多かったのだから比較的早く終わった。